

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 未来サポートそてつ		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 10日		2026年 3月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 10日		2026年 3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	・年2回個別支援会議を設け検討している。また個々のケースに合わせ適宜会議を設けている。	・都度振り返りを行い、計画書に沿った支援が行われているか確認している。
2	・活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	・複数の職員が様々な療育の視点から立案し活動を進めています。終了後は振り返りを行い児童の反応や内容の改善点等確認し記録に残します。また、児童の発達段階に合わせプログラムの内容を変化させることで、スモールステップを作り出し、確実な達成に繋がるよう取り組んでいます。	・記録を続け繰り返し取り組みつつ、新たなプログラムを導入していきたい。
3	・日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	・お迎えの際や送迎時に情報共有できるよう努めております。必要時には電話やメール用での共有も行ないます。	・情報共有の中で共通理解できているか確認を行う。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	・保護者のみなさん忙しそうに参加が少なそう。	・今後開催に向けて検討していく。
2	・家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	・保護者向けペアレント・トレーニングは行っていませんが、情報共有する際に対方法などのアドバイスの機会を設けています。	・ペアレントトレーニングについて研修等で学んでいる状況になるが、保護者同士の交流の場を設ける等できる事から始めていく。
3	・第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	・法人内では第三者委員会のみなさんによる利用者聞き取り、事業所評価を行なっている。放デイは時間の調整がうまくいかず取り組めてない状況。	・今後第三者委員会へ依頼を行い外部評価をお行えるよう努めます。